

## 趣味が高じて職人へ

江南市古知野町にあるテナントの一室で、ひと際洒落な雰囲気醸し出している靴磨屋「T.A.N.S.」(以下、タンズ)。この店のオーナーであり、靴磨き職人として働くのは稲田祐一さん(38)。ここにタンズがオープンしたのは2019年4月。しかし、稲田さんは2016年4月から自宅を拠点に、この仕事を始めていた。

稲田さんが靴磨きを職業とするに至るきっかけは、2014年に遡る。このとき31歳。海外ブランドのワークブーツの輸入販売をしていた。実は稲田さんはアメリカ発のバイクブランド「ハーレーダビッドソン」に乗ることを趣味としていた。その際に欠かせないブーツは日本で購入するとかなり高額なため、少しでも安く手に入れる方法を模索する中で、アメリカから直接購入できるルートを得る。そして仕入れたブーツを販売するようにになったのだ。すると、顧客からブーツのケアやメンテナンスの方法の問い合わせをいただく機会が増えていった。当時は何の知識もなかった稲田さんは、自分でその方法を探り、自らの靴を実験台とするように。どうしたら靴がきれいに蘇るのか、キズは直せるのか? 実験台は友達

の靴にまで及びながら、革靴に対する様々なことを学び、2年が経つ頃、質問されたことのほとんどを答えられるようにまでなっていた。

## 靴磨屋T.A.N.S.

江南市古知野町福寿50 Sunface St.3  
0587-81-4697  
11:00~19:00(11:00~16:00)  
※現在新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い営業時間を短縮しております  
火曜定休  
Shoe Care ¥2,200~



たいという方にはその方法もお話させていただけます」と言う稲田さんに、最低限しておきたいセルフケアを聞くと「1日履いていた靴は帰宅後にブラッシングをしてホコリを落とすこと、毎日同じ靴を履かないこと」と教えてくれた。1日中履いていた靴には汚れや汗などの水分がたくさん含まれ、毎日続けて履くとかなりのダメージがあるという。したがって、乾燥させるために靴を休ませること、シューツリーを入れてシワを伸ばすことで、靴の寿命はうんと長くなるのだ。そして下駄箱に靴を取納する際は、カビを防ぐために必ず乾燥剤を入れることが大切だ。

## 巻頭特集 靴磨き職人

# 稲田 祐一 さん

国内でも数少ない靴磨き専門店が江南市にあるのをご存知だろうか? なぜこの世界に身を投じ、何を思いながら靴に向き合っているのか? 靴磨き職人である稲田祐一さんに話を聞いた。

靴がまた履けるようになるんですから。解決できそうじゃないというところを解決する、というプロセスが自分にとっては楽しいことでした」と稲田さん。失敗しても「ごめんね」と言ってお許される友達の靴ではなく、プロとしてお客様の靴を扱うことに自信が付き、この技術一本で仕事にすることを決意。まずはアパレル店での営業や、デパートでのイベント開催で固定客を掴んでいったのだ。

靴磨きの依頼を受けるにあたり、稲田さんはまずお客様の要望と靴の状態を総合的に判断し、金額設定や仕上りのイメージを伝えるという。それは同じ作業内容でも革の状態やキズ、シワなどにより一つとして同じ仕上がりにはならないからだ。

タンズの基本メニュー「シューケア」の作業内容は汚れを落とし、革の素材や色に合わせたクリームを施し、磨き上げるのが大まかな流れとなるが、各工程により使うブラシや磨くための布、クリーナーやクリームなどを使い分けている。

現在、タンズで使用しているケア用品はフランスのメーカーである「サフィール」製品で、稲田さんはライセンスを取得し、愛知のアンバサダーに就任している。このメーカーにたどり着いたのは、独学での修行時代にありとあらゆる製品を試して納得したもの。ブラシも「靴専用」を作っているメーカーではなく、職人に直接依頼している特注品で、サイズ、毛の硬さ、高さを細かくオーダー。ホコリを取るには馬毛ブラシ、余分なクリームを除去し、革をもっちりやわらかくするためには豚毛ブラシ、最後

の艶出しにはヤギ毛ブラシが最適だと実感したのも、稲田さんならではの研究の結果だった。

シューケアの後、さらにつま先やかかと部分をピカピカに輝く鏡面仕上げにした場合は「シューシャイン」メニューが追加となる。これは薄いワックスを重ねて厚いひとつの層をつくることで光沢を出す手法で、履いた後にやわらかい布で磨く、セルフケアをすればこの輝きは3週間持続する。艶があるためキズが目立ちやすく感じるが、磨くことでまた艶が戻るといふ。また、靴についてしまったキズも稲田さんの手にかければ修復が可能である。サンドペーパーで少しずつ削りながらキズの凸凹部分を平らにした後、靴の色に合わせて補色し、最後に全体のケアをすれば、キズはほとんど目立たなくなる。とても根気のいる緻密な作業だが、革の性質を熟知している稲田さんだからできる技術で、スムーズレザーだけでなく、スエード素材でも可能である。

## 手入れ次第で靴の寿命は変わる

連日、稲田さんのもとには「元のようキレイな履ける状態にしてほしい」という靴が多数持ち込まれる。それらはセルフケアがされてきたものより、購入以来一度もケアされていない靴が圧倒的に多いという。

「目見てセルフケアされてきたのかどうかは判別できませんよ。なぜ艶が無くなったしまったのか、何をすればいいのかわからない方が多いので、ここでのケアの後、自分でケアし



Before

何年も下駄箱で放置されていたビジネスシューズ

After

「Shoe Care」+「Shoe Shine」  
見違えるほどピカピカ!



Before

靴の脱ぎ履きの際に  
できやすいこすりキズ

サンドペーパーで削り表面を滑らかにし、靴の色に合わせたクリームで補色

After

キズはほとんど目立たない!

普段からセルフケアをしている方も多いと思うが、そんな方にも注意してもらいたい点がある。それはお手入れ剤の成分だ。簡単に手早くきれいになるものは化学物質を使っているものが多く、革に負担がかかるという。特にアルコールを含むものは革との相性は最悪なため、使用は避けたほうがいい。

「革靴の革は人の皮膚と同じでお手入れ次第で状態はすぐ変わります。プロが靴磨きをする時、靴が育つといわれ、キレイを長い時間持続させることができるのは、ケア用品にこだわり、革の性質に寄り添った技術を施すからです」と稲田さん。江南に



Before

After

タンズではメンズ用革靴だけでなく、レディース用、スニーカー、財布やバッグなどの革製品のケアも行っている